



青年委員会だより



平成 16 年 12 月 1 日（第 58 号）

（社）青森県建築士会青森支部青年委員会

新潟は、すごかった！

去る 11 月 17 日～20 日に仕事で、新潟県小千谷市（震源地付近）に行ってきた。新潟県中越地震での緊急現状調査のため、夕方にスクランブル発進、疲れ＆睡魔と闘いながら、高速道を走ること 7 時間・・・

テレビ、ニュース等での衝撃映像のインパクトが強かったので、新潟県に入って注意深く走っていたが、別段変わった所もなく、宿泊先までもう一息、最後の休憩とガソリン補給のため、越後川口 SA に入ったところ異変にやっと気がつきました。街灯が点いていない？ ガソリンスタンドがない？ そう、そこは震源地である川口町にある「SA」だったのです。

建物は半壊、街灯は傾いてまるで映画のワンシーンのような感じで、当然「SA」の機能は果たしていませんし、復旧の手も回ってなく手付かずの状態です。「これは大変なところに来ちゃった」と思いました。

とりあえず宿泊先（越後湯沢）まで向かいましたが、暗いので高速道から回りの状況が分かりません。そこから先 10 キロ位は片側車線で、路肩や路面補修をしていました。確かに路面は波打ち、もはや高速道ではありません。時速 50 km くらいで車が飛びます。

次の朝、更なる衝撃映像が・・・現状調査のため、昨夜通ってきた高速道を戻ると回りの景色は想像をはるかに超えるものでした。屋根瓦は落ち、外壁・窓は崩れ傾き、まさに『グッチャグッチャ』の状態です。

テレビ画面で見ると、実際に現場で見るとは大きな違いでした。今回は仕事の関係上、ダム化した「山古志村」・・・車が土砂に埋まり奇跡の救出劇があった小出町等には行けなかったのですが、小千谷市には行って見ました。

地震発生から一ヶ月経過しており、緊急的補修はしていました。まず高速インター料金所の車道が陥没しており、土台と道路に 30cm くらいの間隙が開いていました。市内を回って見ましたが、震源地ほどの壊滅状況ではないものの、車の時速は時速 30 km 程度でしか走れません。

道路にあるマンホールほとんどが 10～15cm 位隆起していてスピードは出せない状態でした。残念ながら写真は取れなかったのですが、近々『山古志村』に出張予定があり、そのときには、写真をとってきます。（福士）



第 9 回クリスマス交流パーティ

毎年恒例のクリスマス交流パーティも今年で 9 回目を迎えることとなりました。今年は原点に立ち返って、参加者が楽しめるアトラクションとして、会員他によるマジックショーを企画しています。

また、テーブル席ですのでご歓談しながらゆっくりお料理を楽しめます。

チケットは原則として前売りのみとなりますので、お早めに支部事務局（TEL:017-773-2878）へお申し込みください。

と き：平成 16 年 12 月 17 日（金）18:00～

ところ：青森国際ホテル（青森市新町 1-6-18）

チケット：5,000 円／1 人

3,000 円／小学生以下



青森支部ホームページ

<http://www.aaba.gr.jp/>

青森支部ホームページも、お陰様で間もなくアクセス数が 20,000 を超えるもようです。多数のご利用ありがとうございます。

今後ともよろしくお願いいたします。

また、よいお年をお迎えください。

今月の青年委員会定例会はお休みです！